

第27回 2025年度とよの大好きフォトコンテスト作品募集

今年もとよの大好きフォトコンテストを開催いたします。テーマは「私のお薦めする 豊能町の絶景スポット」 です。

自然の宝庫豊能町。町内の癒しの風景、山や植物、生き物など、"私しか知ら ない絶景スポット"を紹介して下さい。

フォトコンテストの応募用紙は観光協会事務局、観光案内所、西公民館、中央 公民館等、町内各所にて配布しております。また、観光協会ホームページでも PDF 形式のデータファイルがダウンロード



私のお薦めする豊能町の絶景スポッ

募集要項



できます。どうぞご利用ください。

応募作品は四ツ切、ワイド四ツ切のカラープリント

- ●応募作品は未発表、1年以内に撮影されたもの。
- 応募作品は原則返却いたしません。
- ●入賞作品の版権・著作権は主催側に帰属します。
- ●入賞者には、作品の原版(ネガ、ポジ、データ)を提出していただきます。

【応募方法】

応募用紙又は便箋に所定の事項(題名・撮影年月日・撮影場所・氏名・住所・ 電話番号・写真原版)を明記の上、作品の裏面に貼付けて下さい。

豊能町内、町外どなたでも2点まで応募できます。

【応募締切】令和7年12月9日(火)消印有効 【発 表】令和8年1月初めに応募者全員に通知

【審杳委員】

全日本写真連盟関西本部(予定)、豊能町観光協会役員

入賞者は令和8年1月25日(日)に表彰(予定)

【作品展示】

町立公民館等 町ホームページにて掲示(予定)

- 〒563-0292 豊能郡豊能町余野 414-1 ◎最優秀作品(大阪府知事賞)1 点 賞状・賞金 3 万円
 - ◎優秀作品(豊能町長賞・(財)大阪観光局理事長賞・豊能町観光協会会長賞)3点 賞状・賞金1万円
 - ◎入賞作品 10点 賞状·副賞

◎ファミリー 當(大阪北部農業協同組合長賞・池田泉州銀行ときわ台支店賞・能勢電鉄㈱賞など)賞状・副賞

【主催】豊能町観光協会 【後援】大阪府・豊能町・全日本写真連盟ほか(予定)

(農林商工課内)

豊能町観光協会

電話 072-739-3424

H P https://toyokan.net/ - JV kankou@town.toyono.osaka.jp

ホットニュースあれこれ



期間限定 能勢電鉄 妙見口駅待合室にて

「駅の本屋さん」開催中

8月から3月まで月に一度、能勢電鉄「妙 最終日の3月14日(土)には、観光協





「豊能創作小話 野の花」で検索!

能町が舞台のYoutubeチャンネル

天狗と団子と幸せの灯り(吉川妙見参道)、風花舞う(豊能





豊能町観光協会たより

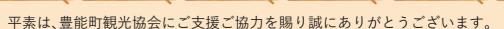


〒563-0292 豊能町余野 414-1 豊能町観光協会事務局(豊能町役場内) 電話 072-739-3424 FAX 072-739-1919

kankou@town.toyono.osaka.jp HP https://toyokan.net



豊能町近隣の市・町の観光協会や 観光に関わる団体との交流に取り組んでいます



コロナ対策も5類になり、各地では様々なイベントも開催され、地域観光においても賑わいを取り戻して きているように思われます。新たなる観光の提案が必要だと感じ、地域を超えた観光を皆さまと一緒に気軽 に楽しく交流し、お客さま目線での観光を具現化したいと考えます。

🌌 府県の境を越えたネットワークづくり

猪名川上流に位置する1市3町(川西市・猪名川町・豊能町・能勢町)が、府 県の境を越えたネットワークを作り、観光を軸とした地域振興に取り組んで いきます。

7月1日(火)午後2時から4時まで、初谷川入口の初谷広場において「とよ の観光ミーティング」を開催しました。今年は、「豊能町近隣の川西市、猪名川 町の観光に関わる団体や会員を問わず交流しましょう!」と観光に関わる企業の方、都会か ら移住されてきた方、そして現役~長老まで幅広い世代の方 37 名が参加されました。名刺、事業 PR、 チラシ等を持ち寄り、それぞれの観光スポットやグルメ等を紹介し交流しました。

豊能ならではの"エクスペリエンス(経験)"に満ちた「とよの観光まつり」

観光ミーティングの交流を受け継いで、8月30日(土)10時から「とよの観光まつり」を開催しました。観 光協会山口宗太郎会長による開会のあいさつの後、上浦登豊能町長のあいさつで元気よくスタート。

受付では、アンケートに答えてもらうとお子さまにはとよのんピンバッチのプレゼント、インスタをフォ ローしてもらうと南瓜やサツマイモがもらえるというサプライズも行いました。

豊夢さんによる和太鼓や「TDS」主宰のコバケンさんによるダンス、とよのんと一緒に写真を撮ったり、 キッチンカー、おおみやさんの猪の丸焼きは脂がヘルシーで美味しかったです。「いいな里山ネット」さんで は木工ワークショップにてバードコール(鳥笛)を作りました。石ころアートは、すぐ側に流れる初谷川から 石を拾ってきてペイントします。浅い川で小さい子も楽しめます。これも田舎のきれいな里山ならではです。 豊能町観光ボランティアガイドの会では初谷川案内や清掃散策。志野の里さんの新鮮お野菜、切畑「おやじの めしや」さんのわらび餅。午後からは、とよのさと唄の会さん、cue♪さんのライブ、くでけん&エリカさんの 盛り上がった沖縄の唄。最後は皆さまとじゃんけん大会を行い、「とよの観光まつり2025 閉会となりました。 皆さまと共に過ごした楽しい一日を、また来年も…と願っております。









豊能町観光協会が令和7年6月~9月に行った事業



豊能歴史講座『能勢氏について語る パートⅡ』

能勢氏との縁が深い法性寺住職 相川大輔氏。能勢郡の成立、能勢頼次、源氏とは何か、400年の歴史を勉強できました。



とよの観光ミーティング

豊能町近隣の川西市、猪名川町の観光に 関わる企業の方、移住されてきた方など 幅広い世代の方 37 名が参加して交流。



能勢妙見山観光協会総会出席

霊山としても名高い能勢妙見山は見どころが たくさん。来年は能勢頼次公没後400年の節 目の年に当たり、記念事業を計画しています。



豊能自然講座「社会性昆虫-その生態と防除-」

殺虫剤や害虫防除の研究をされてきた平野 雅親氏。昆虫の亜社会性、側社会性、真社会 性昆虫についてわかりやすく学びました。



シートスでアドプト事業

旅する蝶『アサギマダラ in フジバカマ』で賑いの 地域・町づくり。昨年に続いてシートスにアドプ トの一翼を担って戴き、今年度に繋がっています。



関西万博の大屋根リングで盆踊り

関西万博の大屋根リングで協力会員とよの舞スターズ有志 15 名がオレンジとよのん Tシャツを着て河内音頭盆踊り(8000人参加)を踊りました。



大活躍! キラリ光る汗美しく「とよの舞スターズ」

盆踊りで地域おこし隊の「とよの舞スターズ」は、7月30日(水)社協ふれあい愛交流会、8月2日(土)ときわ台・東ときわ台夏まつり、8月9日(土)光風台とよの夏まつり、商工会夏まつりにて盆踊りしました。皆で踊る盆踊りは格別でした!



「とよの観光まつり 2025」開催

さまざまなステージや石ころアートなどのワーク ショップ、キッチンカーに猪の丸焼き、初谷川案内 や清掃散策など、楽しいイベントになりました。



豊能歴史講座「ロマンの道 花折街道 昔と今」

妙見宮への門前町として栄えていた吉川「花折街 道」古の口伝や絵図を紐解き、ロマンあふれる歴史 文化を向井勝氏より熱く語っていただきました。



豊能町観光ボランティアガイド養成講座 開

今年度より2回の受講日(9/19、9/27)から都合の良い日の選択制になり、両日で9名の受講がありました。



豊能町観光協会のイベント・お知らせ

10月 4日(土) 右近フェスタ

10月18日(土) 自然講座 バードウォッチング 阪本俊行 氏 🗘

10月26日(日) 東能勢小中学校 周年記念未来祭

10月29日(水) 豊能町内 史跡巡りバスツアー





11月15日(土) 高山右近音楽フェス(ユーベルホール)

11月15日(土) 歴史講座「豊能町の歴史的遺産を知る」小嶋均氏

11月26日(水) 観光協会 会員研修会 園部町観光協会

12月 9日(火) とよの大好きフォトコンテスト応募締め切り (1月25日表彰 予定)



詳しくはホームページ・ 掲示板をご覧ください!/



N JE

豊能町観光ボランティアガイドの会 会報「四季」より



■猪名川町観光ボランティアガイドとの交流 7/9

午前9時30分妙見口駅に9名をお迎えして吉川地区のガイドを行った。 定番のコースとは言え、ゲストの皆様は同業の活動をしている 方々、吉川の魅力をベテラン、中堅メンバーが個性あるガイドに務めた。

終了後の講評ではガイド経験者としての指摘が多く、「明日から 直ぐ使えるな」という感想を持った。

又、見習おうと思ったのは、公共交通機関を利用し、駅前のお店では二組に分かれ、飲食等地元にしっかり貢献された。観光を良く理解し実践されているなあ。素晴らしいなと感じた。 (記:筒井)





■「観光ボランティアガイドの会17期生 現地研修」川尻地区 5/27 ……

目的地である法輪寺まで車で分乗して行き、「法輪寺宝篋印塔・法輪姫の塔」から順次回り、計 10 ヶ所を学ぶ。

最後に私の担当である「池田街道の道標」をお話した。丹波亀山(亀岡)と摂津池田を結ぶ街道の、道案内や旅行者の安全を神仏に祈願して造設されたものである。路傍に放置、倒伏されている道標も、その昔は、土地、文化の生き証人である。文化交流の語り部、伝承者として大切に保存していかなければならない。当時は旅人の唯一の案内人である。(記:髙坂)



| 17 期生「ガイドデビューを終えて」吉川地区 7/12

ガイドを2ケ所もする事になって、その選定にも困ってしまった。

取りあえず一ケ所は好きな井戸城にし、もう一ヶ所は考鬮寺に決定。それから資料集めなどドタバタ続きで当日を迎えたが思い通りの説明とはほど遠いものとなった。特に井戸城については長くなってしまった。

今後の反省としては自分がガイドしたい内容ではなく対象者がどのような内容を 求めているのかをよく知り、写真や地図等を多用していく必要を感じた。ただただ反 省のみの一日であった。(記:小谷)

